北海道南幌養護学校

コミュニティー・スクール通信

発行　北海道南幌養護学校　学校運営協議会

◆第2回　コミュニティー・スクール（学校運営協議会）を開催しました◆

《議事》　第２回学校運営協議会

（１）令和５年度学校評価の結果について　（２）令和６年度グランドデザインの方向性について

（３）地域と協働した教育活動の取り組みについて　（４）令和６年度学校運営協議会について

（1）令和6年度グランドデザインの方向性

　次年度のグランドデザイン案として、学校教育目標を「一人一人が力と個性を発揮し、社会で豊かに生活する力を育む」として、児童生徒一人一人の可能性とよさを伸長し、 地域で社会参加しながら豊かに生きる力を育む教育を目指すことについて校長より説明しました。

　目指す学校像として、「子ども」が主語になる視点で学校運営をしていくこと、令和6年度の重点目標（案）は、「主体的に学び　育ち合う」ことを重点とし、「授業」「教育環境」「連携と協働による学校づくり」を継続し、児童生徒が主体的に学び、 仲間との学びや地域での学びをとおして育ち合う教育課程の改善・充実を進め、一人一人のよさと可能性を最大限に育む教育の実現を目指すことについて提案しました。参加した委員の皆様と、方向性について共有し、承諾をいただきました。

（2）地域と協働した教育活動の取り組みについて

　事前に、校内各学部、寄宿舎から“地域資源を活用して取り組んできた学習活動”について情報共有をしました。

　各委員からは、「町の施設を使っていることが分かり、うれしく思う。」「南幌町には若い人がどんどん入ってきている。町と協力していくことができればよりよいことだと思う。」「学校の子どもたちが、町の資源を活用することで、南幌町の良さを発信できると思う。子どもたちの発達段階に合わせて地域の活用も違ってくる。」等の御意見をいただきました。

（3）令和6年度学校運営協議会について

令和6年度の学校運営協議会で、取り組みたいことについて次の2点をお諮りしました。

□令和6年度の地域と協働した教育活動の取り組みの進捗・評価・改善について

□南幌町と連携した危機管理体制にかかわる取り組みに向けた協議について

　実際に、地域と協働した教育活動の展開について、評価、改善を進めたいこと、南幌町にある学校としての役割、町と連携をした危機管理の対応などを協議していきたいことについて、委員方々にご賛同をいただきました。

（4）その他

　①開校40周年について、②いじめ防止基本方針について、③働き方改革について、学校の取り組みを説明しました。

開校 40 周年記念南幌養護学校スクールキャラクター「こんぽろちゃん」→